



旧町花 紫龍の舞

～過去から未来へつなぐサツキからのメッセージ～

大切なメッセージの始まり

サツキ「紫龍の舞」からのメッセージ

1年生の花のつくりの学習から始まった

おしへの数が違う花があるぞ！
オレンジの花はいつもおしへが5本！
ピンクの花もいつも5本

「おしへの数の違いに何か意味があるのではないか」という疑問から研究が深まる。そして、サツキからのメッセージをしっかりと私たちは受け取った。

大内中学校中庭のサツキの歴史

現在、大内町は他町村と合併、由利本荘市となった。

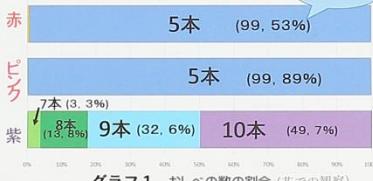
「中庭のサツキたちは、僕たちが入学するる前からここにあり、30年間ここで育ってきた」

学校の歴史が詰まつたアルバムをひもとき、中庭の詳細が明らかになった。何気なく見過ごしてきた中庭のサツキが私たちにくれたものは、時間の中で漂いながらも、確実に私たちに届けられた！



サツキの研究

紙面上のデータは全て、平成30年4~6月において、大内中学校科学部で観察実験したものです。



グラフ1 おしへの数の割合(花での観察)

おしへの数が安定している品種
不安定な品種 2種類に分けられた。

紫龍の舞は、不安定で6~10本

花や蕾で数えても、違う場所で数えても 「紫龍の舞」のおしへの数はやっぱりバラバラ！



開花していない蕾の状態で 553輪を再度観察した。
蕾から花弁をとって観察しても、
おしへの数の割合に変化がない。
→ 風などの物理的要因ではない

30年前、同時に植えられた
岩谷小学校のサツキ(紫龍の舞)も
307輪、観察した。
グラフに大きな変化はない
→ 栄養などの環境的要因ではない

大内中学校の皆さんへ

私たちは、サツキの研究を通してサツキの存在理由を始めて知った。サツキがこんなにも美しいこと、その命が短いこと、葉の緑が輝いていること、そして、私たちの父母の時代からずっと、校舎やその中にいる人々を見守ってきたことを知った。

中庭のサツキは、30年前から、開花しているときも、花が散ってしまった後も、

「心穏やかに、明日も元気に頑張つてほしい」

というメッセージを、私たちに送ってくれていたのではないだろうか。

私たちは、来年度も研究を継続し、大内中学校にあるサツキの魅力を伝えていきたい。現在も、中庭から見守ってくれている、緑輝くサツキたちに感謝しながら…。

大切なおしへ

大杯
ピンク色で斑点がはっきりとしている。国内どこでも育てられる。おしへの数が5本で安定している。



平成元年(1998年)
に校舎改築があり
つくられた中庭



桜冠

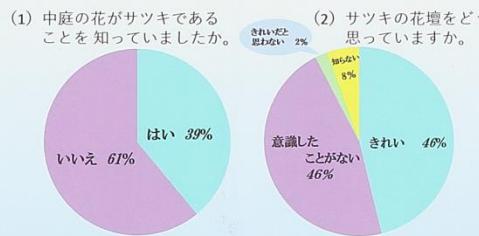
白い花弁に赤い斑点や筋が入っている。大正時代に作られた花。中庭には、赤い筋が入ったり、輪郭が赤い色で線取りられた花もあった。



アンケート調査 中庭のサツキの存在価値は、それぞれの心の持ち方で変わる

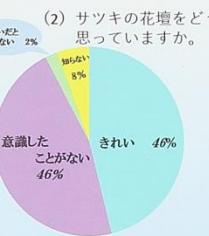
(1) 中庭の花がサツキであることを知っていますか。

いいえ 61% はい 39%



(2) サツキの花壇をどう思っていますか。

知らない 8% 意識したことない 46% きれい 46%



(3) 中庭のサツキの色を覚えていたら、教えてください。



平成30年6月28日
対象：大内中学校
生徒146名

(4) 「花壇のサツキの花のイメージ」について様々な意見がありました。

- ・きれい・大内の花・明るい
- ・あまり立たない
- ・突然咲き乱れる

私たち 1 体、何を
見ていたんだろう

中庭の花が、サツキだと知っている人は39%と低かった。花壇をきれいだと感じている生徒も46%と半分以下だった。中には「知らない」と答えた生徒もいた。中庭は全クラスの窓から見える位置にあり、そのすぐ横には学級花壇もある。にもかかわらず花壇があまり意識されていない理由は、サツキのイメージを「突然咲き始め、すぐになくなる」と回答した生徒が気づいていた。この事実が大きく影響していると思われた。

大内中のサツキは、5~6月の短い間に咲き、すぐ散ってしまう（今年の咲き終りは7月3日）。そのため花が咲いた状態を間近に見たことが無く、散った後の緑の状態しか認識していない生徒が多いのではないかだろうか。そう分析している私達も、サツキの美しさを実感したのは、この研究を始めてからだった。そして、メッセージを感じ取ったのも……。

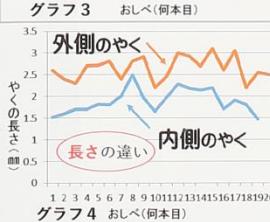
おしへの付け根部分の観察



紫龍の舞の花のつくりを さらに詳しく追求！

表1 51輪の蕾のおしへ欠損状況まとめ

	外側	内側	外側	内側						
おしへ番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
9本おしへ	0	2	8	4	2	0	0	0	0	0
8本おしへ	0	5	6	19	11	0	0	0	0	0
7本おしへ	0	5	8	9	7	0	0	0	0	0
6本おしへ	0	4	4	4	4	0	0	0	0	0
合計(本)	0	16	26	36	24	0	0	0	0	0



グラフ3 おしへ(何本目)

グラフ4 おしへ(何本目)

1番おしへと内側のおしへは
欠損しない！



グラフ5 おしへ識別番号と
おしへの欠損の関係

実験方法

実験結果

- ①顕微鏡での観察
- ②おしへの識別番号化・グラフ化
- ③欠損・非欠損の状況の観察
- 外側のおしへが内側と比較して貧弱
- 欠損位置が全て外側のおしへ
- 外側の1番おしへだけは欠損しない

考察 この欠損の仕方には
意味がある！

遺伝的要素が関わっている！

若山

佐竹氏が秋田（久保田城）に移るとき持ってきた5種類の「秋田の五名花」に数えられる。この他に、国光、紺桔梗、秋田錦、秋田絞などがある。この花は筒のようになっていて桔梗咲きする。

町の花である
サツキ

古くから伝わる品種で色は濃紫。丁字咲きや八重咲きをするが、基本的に一重咲きの種である。